

会 場：柏崎原子力広報センター 2F 研修室

出席委員：新野・渡辺(丈)・石田・佐藤・川口・久我・武本・渡辺(五)委員...8名

事務局：押見事務局長

県の国民保護計画(素案)について

- ・ 表題は「～(素案)に対する意見」とする。
- ・ 宛名は知事宛。(知事にこういう思いがあることを知っておいてもらいたい。)
- ・ 3月1日の定例会に委員全員に配布し諮る。
- ・ 文中一部修正...「原子力発電所が武力攻撃等を受け、放射性物質又は放射線が発電所外へ放出される被害が発生すれば、その影響は計り知れず大変な事態を招くこととなります。」とする。

勉強会について

- ・ 東芝のデータ、制御棒の問題等、地域の会としても重大な事として捉える必要性があり、予定していた3月1日の勉強会は中止とする。
- ・ 次回定例会の案内には勉強会を変更して、通常定例会にする旨を記載する。今起きている事象についての資料に目を通してきてほしい旨も記載。
- ・ 勉強会自体は改めて新年度、時間のあるときに検討。

電磁波の計測

- ・ 委員が同行して計測した後、この件について報告する。

3月定例会について

- ・ 何を前回以降の動きとして説明してもらい、何を重点的に説明してもらうのか。
- ・ シュラウドと同じ金属を使っている制御棒がひびわれているかどうか、わからなかったのかというあたりは、保安院の責任も問われることになるのでは。
- ・ 現状報告と質問事項を並べて、4月に持ち越すことになるのでは。
- ・ 発電所への地域の会としての立ち入りも考える必要があるかもしれないが、時期的にまだ出来る状態ではない。
- ・ 東電からは3点の説明。
- ・ 炉心の中に sus316 L を使っているものがあるとは思っていなかった。
- ・ 定例会以降の動きの中で、説明してもらった後、質問をいくつかすることで、時間になるのでは。
- ・ 回答できるものに関しては、その場でもらい、そうでないものに関しては次回にもらう。
- ・ 特に大きな議題は設けない。

高経年化について

- ・ 議題に入る前に、ある程度説明や委員個々の意見の出し合いが必要なのでは。
- ・ 委員だけの非公開の意見交換の場も必要なのでは。